

設 計 書

河川災害復旧工事	課 長		課 長 補 佐		課 長 補 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
被 災 年 月 日	令和 8 年 6 月 24 日						工 事 概 要	復旧延長 (両岸) L=8.0m				
工 事 番 号	8 災 第156号							コンクリートブロック積 35 m2 小口止工 (6箇所) 6 m3 雑工 (石積工) 26 m2 雑工 (ブロック積工) 5 m2 構造物取壊し工 (無筋) 2 m3 張芝工 (人工張芝) 2 m2 雑工 (張芝工) 0.4 m2 大型土のう工 5 袋 締切排水工 2 箇所 工事用道路 (敷鉄板) 77 m 土工 1 式				
河 川 名	普通河川 南畑川											
施 行 位 置	阿久根市 大川 地内											
工 事 名	8災 第156号 南畑川河川災害復旧工事											
工 期	令和9年3月10日まで		施 行 方 法		直 営 ・ 請 負							
支 出 科 目	年 度		会 計		款		項		目		節	
	区 分		金 額				決 定		摘 要			
	設 計 額		円				円					
其 の 他	内工事費 円 内工事雑費 円 令和8年 6月23日 ~ 6月30日 梅雨前線豪雨 被災コード (26175) 最大時間雨量 47.0mm/h 最大24時間雨量 105.0mm/d 連続雨量 117.0mm											

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	() ×10/110 消費税額 10%
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	工事価格 円 消費税等 円
附 帯 工 事 費		
測 量 及 び 試 験 費		
用地費 及び 補償費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		× 0.015=

工 事 設 計 書		
設計書総括情報		
事 務 所 名	阿久根市	
設 計 書 名	実施設計書	
事 業 名		
積算総括情報		
諸 経 費 体 系	A 公共	
適用単価区分	1 実施単価	
単価適用地区	31 北薩③	
単 価 適 用 日	0 令和 8年 9月 1日	
積算条件／諸経費情報	【 当 世 代 】 【 前 世 代 】	
前払率 (%)	4 0 %	
工種	0 1 河川	
施工地域	0 9 補正無し	
現場環境改善費	0 7 計上無し	
消費税税率	0 4 消費税税率：1 0 %	
契約保証	0 1 金銭的保証を要す	

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
※※本工事費※※						X1000
土工（１・２工区共通） レベル１			式			Y01000000
土工 レベル２			式			Y01010000
土砂掘削（上記以外(小規模)） 標準	20	m 3				SQZ001 0 施工内訳0-0001号表
床掘り 土砂，上記以外(小規模)	20	m3				SQZ012 0 施工内訳0-0002号表
積込（ルーズ） 土砂 小規模(標準)	10	m 3				SQZ007 0 施工内訳0-0003号表
埋戻し 上記以外(小規模) 土砂	2	m3				SQZ016 0 施工内訳0-0004号表
盛土部法面整形 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 締固め無し，現場制約無し	2	m²				SQZ029 0 施工内訳0-0005号表
土砂運搬(小規模) 運搬距離13.0km超19.0km以下，DID無し 積込：バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)	30	m3				SQZ002 0 施工内訳0-0006号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など ※処分費（直工内）※	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
					#0042
建設発生土受入料					F0001 0
護岸（1工区） レベル1	30	m3			Y01000000
護岸工 レベル2		式			Y01010000
間知ブロック積工 鉄筋不要		式			SQ038 0
A=15200	30	m ²			施工内訳0-0007号表
裏込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	14	m3			SQ046 0 施工内訳0-0008号表
胴込・裏込コンクリート 間知ブロック・緑化ブロック 18-8-40(高炉)	4	m3			SQ045 0 施工内訳0-0009号表
胴込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック C-40	0.6	m3			SQ046 0 施工内訳0-0010号表
護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共） 製品長2m／個 中詰コン無し又は別途計上 B=12300	9	m			S1580 0 施工内訳0-0011号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打天端コンクリート 設計断面積 0.035m ² /m 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	9	m			S1325 0 施工内訳0-0013号表
小口止工 (1 工区) レベル 1					Y1271
小口止工 レベル 2		式			Y01010000
現場打小口止コンクリート 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	4	m ³			SQ052 0 施工内訳0-0015号表
張芝 (1 工区) レベル 1					Y1271
張芝工 レベル 2		式			Y01010000
人工張芝	2	m ²			SQZ032 0 施工内訳0-0016号表
雑工 (1 工区) レベル 1					Y1271
雑工 (石積工) レベル 2		式			Y01010000

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
石積工					V0001 0
雑工（張芝工） レベル 2	20	m ²			施工内訳0-0017号表 Y01010000
人工張芝		式			
	0.4	m ²			SQZ032 0
仮設工（1・2工区共通） レベル 1					施工内訳0-0016号表 Y1271
締切排水工 レベル 2					Y01010000
		式			
締切排水工 作業時排水 水替日数12日 排水量0以上120未満 2箇所 全揚程10m	1	式			S2561 0
大型土のう レベル 2					施工内訳0-0019号表 Y01010000
		式			
大型土のう製作・設置 作業半径 5m以下 -3m≤H≤2m 耐候性：許容重量 2 tタイプ 短期仮設型(1年)	5	袋			S1899 0
					施工内訳0-0025号表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下 -3m≤H≤2m					S1899 0
	5	袋			施工内訳0-0027号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事用道路（敷鉄板） レベル 2		式			Y01010000
敷鉄板設置・撤去工	231	m ²			S1920 0 施工内訳0-0029号表
敷鉄板賃料 22×1,524×3,048 0.802t/枚	43	日			F0003 0
敷鉄板整備費 22×1,524×3,048 0.802t/枚	52	枚			W0001
護岸（2工区） レベル 1		式			Y01000000
護岸工 レベル 2		式			Y01010000
間知ブロック積工 鉄筋不要 A=15200	5	m ²			SQ038 0 施工内訳0-0007号表
裏込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	2	m ³			SQ046 0 施工内訳0-0008号表
胴込・裏込コンクリート 間知ブロック・緑化ブロック 18-8-40(高炉)	0.7	m ³			SQ045 0 施工内訳0-0009号表

08-00000000000-40

阿 久 根 市

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
洞込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック C-40	0.1	m3			SQ046 0 施工内訳0-0010号表
護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共） 製品長2m／個 中詰コン無し又は別途計上 B=12300	1	m			S1580 0 施工内訳0-0011号表
現場打天端コンクリート 設計断面積 0.035㎡／m 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	1	m			S1325 0 施工内訳0-0013号表
小口止工（2工区） レベル1					Y1271
小口止工 レベル2		式			Y01010000
現場打小口止コンクリート 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	2	m3			SQ052 0 施工内訳0-0015号表
構造物取壊し工（2工区） レベル1					Y1271
構造物とりこわし レベル2		式			Y01010000
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 対策 不要	2	m3			S7031 0 施工内訳0-0031号表

08-0000000000-40

阿 久 根 市

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し 機械積込	2	m3			SQZ101 0 施工内訳0-0032号表
処分費(直工内)					#0042
産業廃棄物受入料 コンクリート塊(無筋) 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=2300	2	m3			S9910 0 *
雑工(2工区) レベル1					Y1271
雑工(石積工) レベル2					Y01010000
石積工		式			
	6	m ²			V0001 0 施工内訳0-0017号表
雑工(ブロック積工) レベル2					Y01010000
		式			
コンクリートブロック積工 間知ブロック(標準) 練積	5	m ²			S7041 0 施工内訳0-0034号表
裏込材(碎石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	2	m3			SQ046 0 施工内訳0-0008号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共） I 型 500×250×2000mm(控幅 350) 中詰コン無し又は別途計上	0.5	m			S1580 0 施工内訳0-0036号表
現場打天端コンクリート 設計断面積 0.055m ² /m 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	2	m			S1325 0 施工内訳0-0037号表
※※直接工事費※※					
運搬費					Z0004
仮設材運搬費		式			YZ4040000
仮設材等積込取卸 （鋼矢板、H型鋼、覆工板等）	42	t			S1903 0 施工内訳0-0038号表
鋼材の運搬費（往復） 製品長：1 2 m以内 片道運搬距離（9.5）km D=0	1	式			S2502 0 施工内訳0-0039号表
共通仮設費（ 率分）		式			
※※共通仮設費計※※					

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
※※純工事費※※						
現場管理費			式			
※※現場管理費計※※						
※※工事原価※※						
一般管理費			式			
契約保証費			式			
※※一般管理費等計※※						
※※工事価格※※						
消費税相当額			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
※※請負工事費※※						
工事価格計						
消費税相当額 計			式			
請負工事費計						

機械構成比：	労務構成比：	材料構成比：	市場単価構成比：	標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.28m3			バックホウ 山積0.28m3 クローラ型 [標準型・排ガス2次]		MB402P
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

機 械 構 成 比：		労 務 構 成 比：		材 料 構 成 比：		市 場 単 価 構 成 比：		標 準 単 価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考		
A=1 E=7	土砂 標準			B=5 I=1 上記以外(小規模) Ⅱ-1-②-7					

床掘り
土砂, 上記以外(小規模)
機械構成比:

SQZ012

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:
1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次 山積0. 2 8m3			バックホウ 山積0. 2 8m3 クローラ型 [後方超小旋回型・排ガス2次]		MB425P
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001

床掘り
土砂, 上記以外(小規模)
機械構成比:

SQZ012

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

1
標準単価:

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 土砂 E=1 全ての費用			B=5 上記以外(小規模) F=1 II-1-③-4		

積込（ルーズ）
土砂
機械構成比：

労務構成比：
小規模(標準)

SQZ007
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

標準単価：1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.28m3			バックホウ 山積0.28m3 クローラ型 [標準型・排ガス2次]		MB402P
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

積込（ルーズ）
土砂
機械構成比：

労務構成比：

SQZ007
小規模(標準)

材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

1
標準単価：

頁 0 - 0018
m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=1 C=1 土砂 Ⅱ-1-②-27			B=4 小規模(標準)		

埋戻し
上記以外(小規模)
機械構成比：

労務構成比：

土砂

SQZ016

施工内訳表

施工内訳0-0004号表

頁 0 - 0019

1

m3

当り

標準単価：

材料構成比：

市場単価構成比：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次 山積0.28m3			バックホウ 山積0.28m3 クローラ型 [後方超小旋回型・排ガス2次]		MB425P
タンパ及びランマ 質量60～80kg			ランマ 質量60～80kg		M3606P
普通作業員			普通作業員		R0200
特殊作業員			特殊作業員		R0100
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400

埋戻し
上記以外(小規模)
機械構成比：

労務構成比：

土砂

SQZ016

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

1

m3 当り

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=5 D=1 上記以外(小規模) 全ての費用			B=1 E=1 土砂 Ⅱ-1-③-13		

盛土部法面整形
は質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

労務構成比：

SQZ029
締固め無し、現場制約無し
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

1
標準単価：
m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料 山積0.8 m3			バックホウ クローラ型 山積0.8 m3		T0456
普通作業員			普通作業員		R0200
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

盛土部法面整形
は質土、砂及び砂質土、粘性土
機械構成比：

労務構成比：

SQZ029
締固め無し、現場制約無し
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

1
標準単価：

m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 盛土部 C=2 無し E=1 全ての費用			B=2 無し D=2 は質土、砂及び砂質土、粘性土 F=1 II-2-①-4		

土砂運搬(小規模)
運搬距離13.0km超19.0km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ002
積込: バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)
材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0006号表

1
m3 当り
標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 4 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1004P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

土砂運搬(小規模)
運搬距離13.0km超19.0km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ002
積込: ハックル山積0.28m3(平積0.2m3)
材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0006号表

1 m3 当り

市場単価構成比: 標準単価:

代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考
A=2	小規模			B=5	ハックル山積0.28m3(平積0.2m3)		
C=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1	無し		
E=53	13.0km超19.0km以下			G=1	Ⅱ-1-②-13		

間知ブロック積工
鉄筋不要

SQ038

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0007号表

頁0-0025

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8 m3, 吊能力2.9 t	0.122	日			T0439 1
ブロック工	0.070	人			R0800 1
運転手（特殊）	0.090	人			R1400 1
普通作業員	0.080	人			R0200 1
土木一般世話役	0.040	人			R2500 1
コンクリートブロック	1.000	m ²			1
軽油	9.257	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ 積算単価》	1.00	m ²			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m ²			
A= コンクリートブロック 単価 [円／m ²] F=1 II-2-③-7			B=6 鉄筋不要		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m3, 吊能力2.9t	0.068	日			T0439 1
普通作業員	0.100	人			R0200 1
特殊作業員	0.050	人			R0100 1
運転手（特殊）	0.030	人			R1400 1
再生砕石（RC－40）	1.130	m3			T9106 1
軽油	2.150	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ》積算単価》	1.00	m3			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m3			
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック D=1 II-2-③-19			B=2 RC-40		

胴込・裏込コンクリート
 間知ブロック・緑化ブロック

S0045

18-8-40(高炉)

阿久根市

S0046

胴込材（碎石）
 間知・平・連節・緑化ブロック

C-40

08-000000000000-40

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャスト基礎ブロック	5.00	個			
護岸基礎ブロック据付 ブロック質量2,000kg/個以下 作業半径5.0m以下, -5.0m≦H	10.00	m			SQZ123 施工内訳0-0012号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=1 各種基礎ブロック C=2 ブロック製品長 [m／個] E=1 5.0m以下			B= 基礎ブロック単価 [円／個] D=1 2,000kg/個以下 F=2 -5.0m≦H		
H=2 無し又は別途計上(打設作業半径8m超) R=1 通常			N=7 無し X=1 III-2-㊟-2		

護岸基礎ブロック据付
ブロック質量2,000kg/個以下
機械構成比：

労務構成比：

SQZ123
作業半径5.0m以下, -5.0m≤H
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0012号表
ブロック製品長1,500mmを超え2,000mm以下
市場単価構成比：

標準単価：

1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m3, 吊能力2.9t			バックホウ クローラ型 [クレーン機能付] 山積0.8m3 吊能力2.9t		T0439
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
運転手（特殊）			運転手（特殊）		R1400
特殊作業員			特殊作業員		R0100
普通作業員			普通作業員		R0200

護岸基礎ブロック据付
ブロック質量2,000kg/個以下
機械構成比：

労務構成比：

SQZ123
作業半径5.0m以下, -5.0m≤H
材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0012号表
ブロック製品長1,500mmを超え2,000mm以下
市場単価構成比：

標準単価：

1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 C=2 E=1 2,000kg/個以下 -5.0m≤H 全ての費用			B=1 D=8 F=1 5.0m以下 1,500mmを超え2,000mm以下 III-2-㊟-2		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打天端コンクリート 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	0.035	m3			SQ051 施工内訳0-0014号表
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=2 18-8-40(高炉) E=1 一般養生 G=1 II-2-③-26			C=1 小型車割増無し F=0.035 コンクリート断面積 [m ² /m]		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 (クレーン付) 山積0.8 m3, 吊能力2.9 t	0.163	日			T0439 1
型わく工	0.481	人			R3300 1
普通作業員	0.392	人			R0200 1
土木一般世話役	0.228	人			R2500 1
特殊作業員	0.170	人			R0100 1
生コンクリート 18-8-40 (普通)	1.070	m3			T0922 1
高炉Bセメント補正	1.070	m3			T0900 1
軽油	7.059	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ 積算単価》	1.00	m3			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m3			
A=2 18-8-40(高炉) E=1 一般養生			C=1 小型車割増無し F=1 II-2-㊸-26		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料 (クレーン付) 山積0.8 m3, 吊能力2.9 t	0.135	日			T0439 1
型わく工	0.520	人			R3300 1
普通作業員	0.624	人			R0200 1
土木一般世話役	0.248	人			R2500 1
特殊作業員	0.150	人			R0100 1
生コンクリート 18-8-40 (普通)	1.070	m3			T0922 1
高炉Bセメント補正	1.070	m3			T0900 1
軽油	5.166	L			T0002 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ 積算単価》	1.00	m3			
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m3			
A=2 18-8-40(高炉) E=1 一般養生			C=1 小型車割増無し F=1 II-2-㊸-24		

人工張芝

SQZ032

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

1
m² 当り

機 械 構 成 比：		労 務 構 成 比：		材 料 構 成 比：		市 場 単 価 構 成 比：		標 準 単 価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考		
普通作業員				普通作業員			R0200		
土木一般世話役				土木一般世話役			R2500		
人工芝 人工張芝幅100cm				張芝 幅100cm ワラ付			T0013		
積算単価				積算単価			EP001		
*** 単位当り計 ***									

人工張芝

SQZ032

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比： 標準単価：
1
m² 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=1 II-2-①-38					

石積工

V0001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0017号表

頁0-0037

10 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
巨石積（練）φ40cm以上60cm未満 18-8-40(高炉) 1.5～2.0m3/10m ² 裏込材無し,遮水シート無し,止水シート無し	10	m ²			SQ120 施工内訳0-0018号表 小型車割増無し
石代 玉石 40cm内外	72	個			F0002
*** 合 計 ***	10	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			

施 工 内 訳 表

頁0-0038

巨石積（練）φ40cm以上60cm未満
18-8-40(高炉) 1.5～2.0m³/10m²

SQ120
裏込材無し,遮水シート無し,止水シート無し
小型車割増無し

施工内訳0-0018号表

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ラテックス作業料金 長期割引 油圧伸縮ジブ型, 2 5 t 吊	0.060	日			T0405 1
特殊作業員	0.130	人			R0100 1
普通作業員	0.130	人			R0200 1
土木一般世話役	0.083	人			R2500 1
生コンクリート 1 8 - 8 - 4 0 (普通)	0.198	m 3			T0922 1
高炉Bセメント補正	0.198	m 3			T0900 1
＊＊ 代表機労材規格 ＊＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			E0001
＊＊＊ 単位当り計 ＊＊＊	1	m ²			
A=1 石材径 40cm以上60cm未満 D=2 止水シート無し H=2 18-8-40(高炉)			B=2 遮水シート無し F=5 裏込材無し J=1 小型車割増無し		
K=3 コンクリート 1.5m ³ 超 2.0m ³ 以下 [10m ² 当り] N=1 III-2-⑧-5			M=1 全ての費用		

08-0000000000-40

阿 久 根 市

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
♪ポンプ運転 口径×台（200 × 1）	12	日			S2562 施工内訳0-0020号表
♪ポンプ設置撤去費	2	箇所			S2563 施工内訳0-0023号表
*** 単位当り計 ***	1	式			
A=2 作業時排水 D=1 全揚程10m G=2 設置・撤去箇所数			C=1 排水量0以上120未満 F=12 水替日数 H=1 II-5-⑧-2		

♪ポンプ運転
口径×台（200 × 1）

S2562

施工内訳表

施工内訳0-0020号表

頁0-0040

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.14	人			R0100 1
工事用水中ポンプ運転 口径×台（200 × 1）	1.00	日			SA562 1 施工内訳0-0021号表
発動発電機運転費（賃料） ディーゼルエンジン駆動 45kVA	1.00	日			SA061 1 施工内訳0-0022号表
諸雑費	5.00	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 作業時排水 C=1 全揚程10m			B=1 D=1	排水量0以上120未満 II-5-⑧-2	

工事中水中ポンプ運転
口径×台（200 × 1）

SA562

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0021号表

頁0-0041

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事中水中ポンプ賃料 口径200mm, 揚程10m	1.20	日			T0467
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 作業時排水 C=1 全揚程10m			B=1 排水量0以上120未満		

発動発電機運転費（賃料）
ディーゼルエンジン駆動 4 5kVA

SA061

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0022号表

頁0-0042

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発動発電機賃料 ディーゼルエンジン駆動, 4 5kVA	1.20	供用日			T0368
軽油	46.000	L			T0002
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=10 ディーゼルエンジン駆動 4 5kVA D=46 燃料消費数量			C=1.2 賃料供用日数		

♪ポンプ設置撤去費

S2563

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0023号表

頁0-0043

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.50	人			R2500
特殊作業員	0.10	人			R0100
普通作業員	2.00	人			R0200
バックホウ運転費（賃料） クローラ型山積0. 8m3（クレーン付）	0.50	日			SA740 施工内訳0-0024号表
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	箇所			
A=1 II-5-⑧-2					

バックホウ運転費（賃料）
クローラ型山積0.8m3（クレーン付）

SA740

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0024号表

頁0-0044

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m3, 吊能力2.9t	1.47	供用日			T0439
軽油	45.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 クローラ型山積0.8m3（クレーン付） C=45 燃料消費量（L）			B=1 特殊運転手（人） D=1.47 機械賃料（供用日数）		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂（ほぐした土量）	10.0	m 3			
大型土のう 耐候性： 2 t タイプ 短期仮設対応型(1年)	10	枚			T0048
土木一般世話役	0.29	人			R2500 1
特殊作業員	0.29	人			R0100 1
普通作業員	0.29	人			R0200 1
バックホウ運転費（賃料） クロー型・後方超小旋回山積0.45m3(クレーン付)	0.29	日			SA740 施工内訳0-0026号表
諸雑費	1.00	%			#01
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当り計 ***	1	袋			
A=1 製作・設置 C=1 -3m≦H≦2m G=1 II -5-㊟-3			B=1 作業半径 5m以下 D=1 耐候性：許容重量 2 t タイプ 短期仮設型(1年)		

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0026号表

バックホウ運転費（賃料）
ｸﾏﾗ型・後方超小旋回山積0.45m3(ｸﾚｰﾝ付)

SA740

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回 クレーン付) 山積0.45m3 吊能力2.9t	1.28	供用日			T0479
軽油	63.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=11 ｸﾏﾗ型・後方超小旋回山積0.45m3(ｸﾚｰﾝ付) C=63 燃料消費量（L）			B=1 D=1.28	特殊運転手（人） 機械賃料（供用日数）	

大型土のう撤去
作業半径 6m以下 -3m≤H≤2m

S1899

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0027号表

頁0-0047

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.09	人			R2500 1
特殊作業員	0.09	人			R0100 1
バックホウ運転費（賃料） クローラ型山積0. 8 m 3 （クレーン付）	0.09	日			SA740 施工内訳0-0028号表
諸雑費	0.40	%			#01
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当り計 ***	1	袋			
A=4 撤去 C=1 -3m≤H≤2m			B=3 作業半径 6m以下 G=1 II -5-⑩-3		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m ³ , 吊能力2.9t	1.21	供用日			T0439
軽油	101.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 クローラ型山積0.8m ³ （クレーン付） C=101 燃料消費量（L）			B=1 特殊運転手（人） D=1.21 機械賃料（供用日数）		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.29	人			R2500 1
とび工	0.29	人			R0600 1
普通作業員	0.29	人			R0200 1
バックホウ運転費（賃料） クローラ型山積0. 8m3（クレーン付）	0.29	日			SA740 1 施工内訳0-0030号表
諸雑費	1.00	%			#01
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 設置・撤去			B=1	Ⅱ -5-⑯-1	

バックホウ運転費（賃料）
クローラ型山積0.8m3（クレーン付）

SA740

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0030号表

頁0-0050

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m3, 吊能力2.9t	1.06	供用日			T0439
軽油	119.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 クローラ型山積0.8m3（クレーン付） C=119 燃料消費量（L）			B=1 特殊運転手（人） D=1.06 機械賃料（供用日数）		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間] 機械施工 時間的制約 無し 昼間単価	100.00	m 3			TC191
諸雑費	1	式			#20
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り計 ***	1	m 3			
A=1 無筋構造物 C=1 不要 E=1 無し			B=1 機械施工 D=1 昼間単価 F=1 VI-1-④-1		

殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし
運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ101
機械積込

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0032号表

標準単価: 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 10t積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=1 C=1 E=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 無し 全ての費用			B=1 D=56 F=1 機械積込 14.4km超18.5km以下 II - 2-25-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 C= コンクリート塊（無筋） 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

コンクリートブロック積工
間知ブロック（標準） 練積

S7041

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0034号表

頁0-0055

10 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートブロック積工 [手間] 間知・ブロック質量150kg/個未満 時間的制約 無し 昼間単価	10.00	m ²			TB531
間知ブロック 300×400, 控350	10.00	m ²			T1101
胴込コンクリート 強度 (18 - 40) スランプ (8 cm)	2.13	m ³			S1401 施工内訳0-0035号表
諸雑費	1	式			#10
*** 合 計 ***	10	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 間知ブロック（標準） C=0 裏込コンクリート使用量(m3/10m ²) G=1 無し			B=1 練積 F=1 昼間単価 H=1 VI-1-⑤-1		

胴込コンクリート
強度（18 - 40）

S1401
スランプ（ 8 cm）

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0035号表

頁0-0056

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート 18-8-40（普通）	1.0	m3			T0922
高炉Bセメント補正	1.0	m3			T0900
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 高炉セメント（B） C=2 スランプ（ 8 cm）			B=2 強度（18 - 40） D=1 公共単価		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート基礎ブロック（I型） 500×250×2000mm，控幅350mm	5.00	個			T1151
護岸基礎ブロック据付 ブロック質量2,000kg/個以下 作業半径5.0m以下，-5.0m≦H	10.00	m			SQZ123 施工内訳0-0012号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=2 I 型 500×250×2000mm(控幅 350) E=1 5.0m以下 H=2 無し又は別途計上(打設作業半径8m超) R=1 通常			D=1 2,000kg/個以下 F=2 -5.0m≦H N=7 無し X=1 III-2-⑨-2		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打天端コンクリート 18-8-40(高炉) 小型車割増無し 一般養生	0.055	m3			SQ051 施工内訳0-0014号表
*** 単位当り計 ***	1	m			
A=2 18-8-40(高炉) E=1 一般養生 G=1 II-2-③-26			C=1 小型車割増無し F=0.055 コンクリート断面積 [m ² /m]		

仮設材等積込取卸
(鋼矢板、H型鋼、覆工板等)

S1903

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0038号表

頁0-0059

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等積込取卸	1.00	t			
仮設材等積込取卸	1.00	t			
*** 単位当り計 ***	1	t			
A=3 基地～現場～基地			B=1 I -2-②-17		

施工内訳表

頁0-0060

鋼材の運搬費（往復）

S2502

片道運搬距離 (9.5) km

D=0

施工内訳0-0039号表

式 当り

製品長：12m以内

[illegible]

入力データ一覧表

頁0-0061

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
X1000	※※本工事費※※			
Y01000000	土工（１・２工区共通） レベル１	式		
Y01010000	土工 レベル２	式		
SQZ001	土砂掘削（上記以外(小規模)）	20 m ³		A=1,B=5,E=7,I=1 A=土砂,B=上記以外(小規模),E=標準,I=Ⅱ-1-②-7
SQZ012	床掘り 土砂, 上記以外(小規模)	20 m ³		A=1,B=5,E=1,F=1 A=土砂,B=上記以外(小規模),E=全ての費用,F=Ⅱ-1-③-4
SQZ007	積込（ルーズ） 土砂	10 m ³		A=1,B=4,C=1 A=土砂,B=小規模(標準),C=Ⅱ-1-②-27
SQZ016	埋戻し 上記以外(小規模)	2 m ³		A=5,B=1,D=1,E=1 A=上記以外(小規模),B=土砂,D=全ての費用,E=Ⅱ-1-③-13
SQZ029	盛土部法面整形 は質土、砂及び砂質土、粘性土	2 m ²		A=1,B=2,C=2,D=2,E=1,F=1 A=盛土部,B=無し,C=無し,D=は質土、砂及び砂質土、粘性土,E=全ての費用,F=Ⅱ-2-①-4
SQZ002	土砂運搬(小規模) 運搬距離13.0km超19.0km以下, DID無し	30 m ³		A=2,B=5,C=1,D=1,E=53,G=1 A=小規模,B=ハック山積0.28m ³ (平積0.2m ³),C=土砂(岩塊・玉石混り土含む),D=無し,E=13.0km超19.0km以下,G=Ⅱ-1-②-13
#0042	※処分費（直工内）※			
F0001	建設発生土受入料	30 m ³		
Y01000000	護岸（１工区） レベル１	式		
Y01010000	護岸工 レベル２	式		
SQ038	間知ブロック積工 鉄筋不要	30 m ²		A=,B=6,F=1 A=コンクリートブロック 単価 [円／m ²],B=鉄筋不要,F=Ⅱ-2-③-7
SQ046	裏込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック	14 m ³		A=1,B=2,D=1 A=間知・平・連節・緑化ブロック,B=RC-40,D=Ⅱ-2-③-19
SQ045	胴込・裏込コンクリート 間知ブロック・緑化ブロック	4 m ³		A=1,C=2,E=1,F=1 A=間知ブロック・緑化ブロック,C=18-8-40(高炉),E=小型車割増無し,F=Ⅱ

入力データ一覧表

頁0-0062

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				-2-③-16
SQ046	胴込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック	0.6 m ³		A=1,B=4,D=1 A=間知・平・連節・緑化ブロック,B=C-40,D=Ⅱ-2-③-19
S1580	護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共） 製品長2m／個	9 m		A=1,B=,C=2,D=1,E=1,F=2,H=2,N=7,R=1,X=1 A=各種基礎ブロック,B=基礎ブロック単価〔円／個〕,C=ブロック製品長〔 m／個〕,D=2,000kg/個以下,E=5.0m以下,F=-5.0m≤H,H=無し又は別 途計上(打設作業半径8m超),N=無し,R=通常,X=Ⅲ-2-⑨-2
S1325	現場打天端コンクリート 設計断面積 0.035m ² ／m	9 m		A=2,C=1,E=1,F=0.035,G=1 A=18-8-40(高炉),C=小型車割増無し,E=一般養生,F=コンクリート断面積〔 m ² ／m〕,G=Ⅱ-2-③-26
Y1271	小口止工（1工区） レベル1			
Y01010000	小口止工 レベル2	式		
SQ052	現場打小口止コンクリート 18-8-40(高炉) 小型車割増無し	4 m ³		A=2,C=1,E=1,F=1 A=18-8-40(高炉),C=小型車割増無し,E=一般養生,F=Ⅱ-2-③-24
Y1271	張芝（1工区） レベル1			
Y01010000	張芝工 レベル2	式		
SQZ032	人工張芝	2 m ²		A=1 A=Ⅱ-2-①-38
Y1271	雑工（1工区） レベル1			
Y01010000	雑工（石積工） レベル2	式		
V0001	石積工	20 m ²		
Y01010000	雑工（張芝工） レベル2	式		
SQZ032	人工張芝	0.4 m ²		A=1 A=Ⅱ-2-①-38
Y1271	仮設工（1・2工区共通） レベル1			

入力データ一覧表

頁0-0063

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
Y01010000	締切排水工 レベル 2	式		
S2561	締切排水工 作業時排水 水替日数12日	1 式		A=2,C=1,D=1,F=12,G=2,H=1 A=作業時排水,C=排水量 0 以上 1 2 0 未満,D=全揚程10m,F=水替日 数,G=設置・撤去箇所数,H=Ⅱ-5-⑧-2
Y01010000	大型土のう レベル 2	式		
SI899	大型土のう製作・設置 作業半径 5m以下 $-3m \leq H \leq 2m$	5 袋		A=1,B=1,C=1,D=1,G=1 A=製作・設置,B=作業半径 5m以下,C= $-3m \leq H \leq 2m$,D=耐候性：許 容重量 2 t 以下 短期仮設型(1年),G=Ⅱ-5-⑩-3
SI899	大型土のう撤去 作業半径 6m以下 $-3m \leq H \leq 2m$	5 袋		A=4,B=3,C=1,G=1 A=撤去,B=作業半径 6m以下,C= $-3m \leq H \leq 2m$,G=Ⅱ-5-⑩-3
Y01010000	工所用道路（敷鉄板） レベル 2	式		
SI920	敷鉄板設置・撤去工	231 m ²		A=3,B=1 A=設置・撤去,B=Ⅱ-5-⑩-1
F0003	敷鉄板賃料 22×1,524×3,048	43 日		
W0001	敷鉄板整備費 22×1,524×3,048	52 枚		A=770,B=0,C= A=単価,B=2次製品区分,C=機労材集計区分
Y01000000	護岸（2工区） レベル 1	式		
Y01010000	護岸工 レベル 2	式		
SQ038	間知ブロック積工 鉄筋不要	5 m ²		A=,B=6,F=1 A=コンクリートブロック 単価 [円/m ²],B=鉄筋不要,F=Ⅱ-2-③-7
SQ046	裏込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック	2 m3		A=1,B=2,D=1 A=間知・平・連節・緑化ブロック,B=RC-40,D=Ⅱ-2-③-19
SQ045	胴込・裏込コンクリート 間知ブロック・緑化ブロック	0.7 m3		A=1,C=2,E=1,F=1 A=間知ブロック・緑化ブロック,C=18-8-40(高炉),E=小型車割増無し,F=Ⅱ -2-③-16
SQ046	胴込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック	0.1 m3		A=1,B=4,D=1 A=間知・平・連節・緑化ブロック,B=C-40,D=Ⅱ-2-③-19

入力データ一覧表

頁0-0064

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
S1580	護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共） 製品長2m／個	1 m		A=1,B=,C=2,D=1,E=1,F=2,H=2,N=7,R=1,X=1 A=各種基礎ブロック,B=基礎ブロック単価 [円／個] ,C=ブロック製品長 [m／個] ,D=2,000kg/個以下,E=5.0m以下,F=-5.0m≤H,H=無し又は別途計上(打設作業半径8m超),N=無し,R=通常,X=Ⅲ-2-⑨-2
S1325	現場打天端コンクリート 設計断面積 0.035m ² ／m	1 m		A=2,C=1,E=1,F=0.035,G=1 A=18-8-40(高炉),C=小型車割増無し,E=一般養生,F=コンクリート断面積 [m ² ／m] ,G=Ⅱ-2-③-26
Y1271	小口止工（2工区） レベル1			
Y01010000	小口止工 レベル2	式		
SQ052	現場打小口止コンクリート 18-8-40(高炉) 小型車割増無し	2 m3		A=2,C=1,E=1,F=1 A=18-8-40(高炉),C=小型車割増無し,E=一般養生,F=Ⅱ-2-③-24
Y1271	構造物取壊し工（2工区） レベル1			
Y01010000	構造物とりこわし レベル2	式		
S7031	構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工	2 m3		A=1,B=1,C=1,D=1,E=1,F=1 A=無筋構造物,B=機械施工,C=不要,D=昼間単価,E=無し,F=Ⅵ-1-④-1
SQZ101	殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し	2 m3		A=1,B=1,C=1,D=56,E=1,F=1 A=コンクリート(無筋)構造物とりこわし,B=機械積込,C=無し,D=14.4km超18.5km以下,E=全ての費用,F=Ⅱ-2-25-1
#0042	＊処分費（直工内）＊			
S9910	産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋）	2 m3		A=3,B=1,C= A=コンクリート塊（無筋）,B=m3当り,C=受入料金（円／単位）
Y1271	雑工（2工区） レベル1			
Y01010000	雑工（石積工） レベル2	式		
V0001	石積工	6 m ²		
Y01010000	雑工（ブロック積工） レベル2	式		

入力データ一覧表

頁0-0065

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
S7041	コンクリートブロック積工 間知ブロック（標準） 練積	5 m ²		A=1,B=1,C=0,F=1,G=1,H=1 A=間知ブロック（標準）,B=練積,C=裏込コンクリート使用量(m3/ 1 0 m ²),F=昼間単価,G=無し,H=VI-1-⑤-1
SQ046	裏込材（碎石） 間知・平・連節・緑化ブロック	2 m ³		A=1,B=2,D=1 A=間知・平・連節・緑化ブロック,B=RC-40,D=II-2-③-19
S1580	護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共） I 型 500×250×2000mm(控幅 350)	0.5 m		A=2,D=1,E=1,F=2,H=2,N=7,R=1,X=1 A= I 型 500×250×2000mm(控幅 350),D=2,000kg/個以下,E=5.0m以 下,F=-5.0m≤H,H=無し又は別途計上(打設作業半径 8 m超),N=無し ,R=通常,X=III-2-⑨-2
S1325	現場打天端コンクリート 設計断面積 0.055m ² /m	2 m		A=2,C=1,E=1,F=0.055,G=1 A=18-8-40(高炉),C=小型車割増無し,E=一般養生,F=コンクリート断面積 [m ² /m] ,G=II-2-③-26
G0000	＊＊直接工事費＊＊			
Z0004	運搬費			
YZ4040000	仮設材運搬費			
S1903	仮設材等積込取卸 （鋼矢板、H型鋼、覆工板等）	42 t		A=3,B=1 A=基地～現場～基地,B= I -2-②-17
S2502	鋼材の運搬費（往復） 製品長：1 2 m以内	1 式		A=4,B=9.5,C=42,D=,E=1,F=2,G=1 A=製品長：1 2 m以内,B=片道運搬距離（km）,C=運搬質量（t）, D=その他の諸料金（円）@,E=運賃割増なし,F=往復（持込み・持出 し）,G= I -2-②-16
Z0050	共通仮設費（率分）			
G1000	＊＊共通仮設費計＊＊			
G2000	＊＊純工事費＊＊			
Z0020	現場管理費			
G2900	＊＊現場管理費計＊＊			

入力データ一覧表

頁0-0066

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 価 値
G4000	＊＊工事原価＊＊			
Z0030	一般管理費	式		
Z0031	契約保証費	式		
G4100	＊＊一般管理費等計＊＊			
G4800	＊＊工事価格＊＊			
Z0038	消費税相当額	式		
G5000	＊＊請負工事費＊＊			
G6000	工事価格計			
Z0039	消費税相当額計	式		
G4900	請負工事費計			

登録単価一覧表

頁0-0067

[illegible]

特殊基礎単価一覧表

コード	名称・規格1	規格2・摘要	単 位	単 価	特殊 集計	集計 区分	出現 位置 工事内訳
W0001	敷鉄板整備費 22×1,524×3,048	0.802t/枚	枚				

機 労 材 集 計 表

頁0-0069

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1004P	191		3.9000	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
2	M1011P	191		0.1000	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
3	M3606P	193		0.1000	供用日	タンパ及びランマ	路盤用・舗装用機械等
4	MB402P	190		1.2000	供用日	バックホウ (クローラ型) [標準型]	掘削・積込機械等
5	MB425P	190		1.0800	供用日	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回]	掘削・積込機械等
6	R0100	202		8.3022	人	特殊作業員	労務単価
7	R0200	202		18.9422	人	普通作業員	労務単価
8	R0600	202		0.6699	人	とび工	労務単価
9	R0800	202		2.4500	人	ブロック工	労務単価
10	R1400	202		7.5233	人	運転手 (特殊)	労務単価
11	R1500	202		3.4000	人	運転手 (一般)	労務単価
12	R2500	202		7.3258	人	土木一般世話役	労務単価
13	R3300	202		3.3413	人	型わく工	労務単価
14	T0001	221		0.4400	L	ガソリン	3-1 燃料類
15	T0002	221	1,301.3378	L	軽油		3-1 燃料類
16	T0013	278		2.7360	m ²	人工芝	12-1 芝
17	T0048	274		5.0000	枚	大型土のう	11-1 諸材料
18	T0368	382		14.4000	日	発動発電機賃料	建設機械賃料
19	T0405	382		1.5600	日	ラフレンクレーン作業料金 長期割引	建設機械賃料
20	T0439	382		9.6984	日	バックホウ賃料 (クレーン付)	建設機械賃料
21	T0456	382		0.0200	日	バックホウ賃料	建設機械賃料
22	T0467	382		14.4000	日	工事用水中ポンプ賃料	建設機械賃料
23	T0479	382		0.1856	日	バックホウ賃料(後方超小旋回 クレーン付)	建設機械賃料
24	T0507	227		0.7910	m ³	切込砕石 (C-40)	5-1 地域別石材類
25	T0900	214		18.3469	m ³	高炉Bセメント補正	1-2 生コン補正
26	T0922	215		18.3469	m ³	生コンクリート	1-3 生コンクリート
27	T1101	233		5.0000	m ²	間知ブロック	6-1 コンクリートブロック
28	T1151	233		0.2500	個	コンクリート基礎ブロック (I型)	6-1 コンクリートブロック
29	T9106	230		20.3400	m ³	再生砕石 (RC-40)	5-4 再生砕石
30	TB531	403		5.0000	m ²	コンクリートブロック積工 [手間]	土木工事標準単価 (4)コンクリートブロック積工
31	TC191	405		2.0000	m ³	構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間]	土木工事標準単価 (6)構造物とりこわし工

数量計算表

工 種	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量 上段：当初	設計数量 (上段：当初)	単位	備 考	
	種 別	細 別		下段：変更	(下段：変更)			
河川災害復旧工事	南畑川	1 工区（両岸）	6.0	6.0	6.0	m		
		計			6.0	m		
【本工事】								
土工 （1・2 工区共通）	土工	土砂掘削 小規模	18.1（土坪計算書にて算出）	18.1	20	m3		
		床掘り 小規模	23.5（土坪計算書にて算出）	23.5	20	m3		
		土砂積込（ルーズ） 小規模 埋戻し	9.6（土坪計算書にて算出）	9.6	10	m3		
		埋戻し 小規模	2.4（土坪計算書にて算出）	2.4	2	m3		
		盛土法面整形	1.9（展開図参照）	1.9	2	m2		
		土砂運搬（小規模） 運搬距離14.8km，DID無し 積込:バックホウ山積0.28m3（平積0.2m3）	29.3（土坪計算書にて算出）	29.3	30	m3		
		建設発生土受入	29.3（土坪計算書にて算出）	29.3	30	m3		
		護岸工	護岸工	コンクリートブロック積工 鉄筋不要	30.2（展開図参照）	30.2	30	m2
裏込材（碎石） RC-40	14.0（展開図参照）			14.0	14	m3		
胴込コンクリート 18-8-40(高炉)	4.0（展開図参照）			4.0	4	m3		
中詰材（碎石） C-40	0.6（展開図参照）			0.6	0.6	m3		
護岸プレキャスト基礎ブロック（材工共）	8.8（展開図参照）			8.8	9	m		
天端コンクリート 設計断面積0.035m2/m 18-8-40(高炉)	8.8（展開図参照）			8.8	9	m		
小口止工	現場打ち小口止コンクリート 一般養生			3.8（小口止参照）	3.8	4	m3	
張芝	張芝工			人工芝（全面張り） 100m2未満	1.9（展開図参照）	1.9	2	m2
雑工	石積工	巨石積（練）φ40 18-8-40(高炉) 1.5～2.0m3/10m2 裏込材無 石材100%購入	19.7（展開図参照）	19.7	20	m2		
		人工芝（全面張り） 100m2未満	0.4（展開図参照）	0.4	0.4	m2		
	張芝工							
仮設工 （1・2 工区共通）	締切排水工	締切排水工 排水量0～40m3/h未満 作業時排水 水替日数12日 2箇所	1.0（水替算定表参照）	1.0	1	式		
	大型土のう	製作・据付 作業半径6m以内 耐候性：2tタイプ 短期仮設型(1年)	5.0（大型土のう工参照）	5.0	5	袋		
		撤去 作業半径6m以内	5.0（大型土のう工参照）	5.0	5	袋		
	工事用道路（敷鉄板）	敷鉄板 設置・撤去工	231.0（工事用道路（敷鉄板）重量・賃料算定より）	231.0	231	m2		
		敷鉄板賃料	43.0（敷鉄板リース日数算定書より）	43.0	43	日		
		敷鉄板整備費	52.0（工事用道路（敷鉄板）重量・賃料算定より）	52.0	52	枚		
運搬費	運搬費	鋼材の運搬費（往復） 製品長12m以内 片道運搬距離9.5km	1.0	1.0	1	式	現場から基地（阿久根市役所）まで	
		仮設材等積込取卸 敷鉄板	41.7（工事用道路（敷鉄板）重量・賃料算定より）	41.7	42	t		

数 量 計 算 表

工種	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量 上段：当初 下段：変更	設計数量 (上段：当初) (下段：変更)	単位	備 考
	種 別	細 別					
河川災害復旧工事	南畑川	2 工区 (左岸)	2.0	2.0	2.0	m	
		計			2.0	m	
【本工事】							
護岸工	護岸工	コンクリートブロック積工 鉄筋不要	5.4 (展開図参照)	5.4	5	m2	
		裏込材 (碎石) RC-40	2.4 (展開図参照)	2.4	2	m3	
		胴込コンクリート 18-8-40(高炉)	0.7 (展開図参照)	0.7	0.7	m3	
		中詰材 (碎石) C-40	0.1 (展開図参照)	0.1	0.1	m3	
		護岸プレキャスト基礎ブロック (材工共)	1.4 (展開図参照)	1.4	1	m	
		天端コンクリート 設計断面積0.035m2/m 18-8-40(高炉)	1.4 (展開図参照)	1.4	1	m	
		現場打ち小口止コンクリート 一般養生	2.1 (小口止参照)	2.1	2	m3	
小口止工	小口止工						
構造物取壊工	構造物とりこわし	構造物とりこわし工 無筋構造物 機械不要 対策 不要	2.0	2.0	2	m3	
		殻運搬コンクリート (無筋) 構造物とりこわし 運搬距離14.7km DID無し 機械積込	2.0	2.0	2	m3	
		産業廃棄物受入料 コンクリート塊 (無筋)	2.0	2.0	2	m3	
雑工	石積工	巨石積 (練) Φ40 18-8-40(高炉) 1.5~2.0m3/10m2 裏込材無 石材100%購入	5.6 (展開図参照)	5.6	6	m2	
	ブロック積	コンクリートブロック積工 間知ブロック (標準) 練積	5.1 (展開図参照)	5.1	5	m2	
		裏込材 (碎石) RC-40	2.4 (展開図参照)	2.4	2	m3	
		護岸プレキャスト基礎ブロック (材工共) I 型 500×250×2000mm (控幅 350)	0.5 (構造図参照)	0.5	0.5	m	
		天端コンクリート 設計断面積0.055m3/m 18-8-40(高炉)	2.4 (構造図参照)	2.4	2	m	

積算単価根拠表

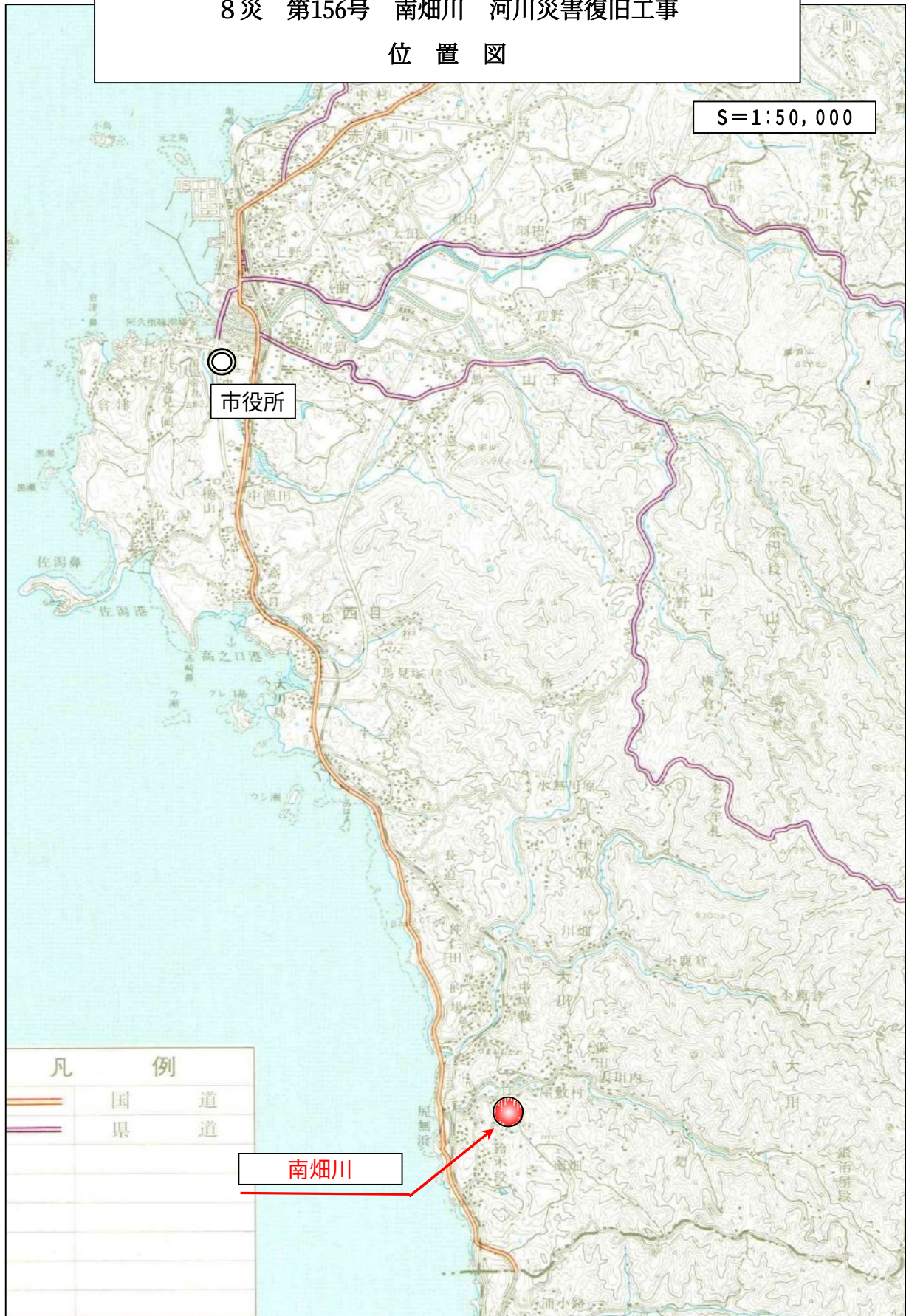
工 事 名： 8 災 第156号 南畑川河川災害復旧工事
河 川 名： 普通河川 南畑川
工事場所： 阿久根市 大川 地内

公共事業設計単価
建設物価
積算資料
建設機械等損料算定表
令和8年9月1日
令和8年9月
令和8年9月
令和6年度版

コード 番 号	単価コード 名 称	材質 及び 規格・寸法	単 位	決定単価 (円)	公共単価		建設物価		積算資料		建設機械		見積単価 (円)			見積平均価格 (円)	備 考
					(円)	P	(円)	P	(円)	P	(円)	P	A 社	B 社	C 社		
F0001	建設発生土受入料		m ³														(有)明和運輸
F0002	石代	玉石 40cm内外	個										○	○	○		
F0003	敷鉄板賃料	22×1,524×3,048 0.802t/枚	日					815		290							建設物価：九州① 積算資料：九州①
W0001	敷鉄板整備費	22×1,524×3,048 0.802t/枚	枚					815		290							建設物価：九州① 積算資料：九州①
SQ038	間知ブロック積工 【A条件】	トライグラス 238kg/個 500×997×350	m ²										○	○	○		特別調査の単価を採用
S1580	護岸プレキャスト基礎ブロック 【B条件】	トライグラス基礎ブロック 高さ100/150×幅2000×控長630	個										○	○	○		

8 災 第156号 南畑川 河川災害復旧工事
位 置 図

S=1:50,000



特記仕様書

第1章 総則

(総則)

第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工事名：8災 第156号 南畑川河川災害復旧工事

工事場所：阿久根市 大川 地内（普通河川 南畑川）

第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書ならびに下記仕様書等
その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要綱、指針、示方書（最新版）に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員（以下「甲」という。）と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書（鹿児島県土木部制定）
- (2) 土木工事施工管理基準（鹿児島県土木部制定）
- (3) 土木請負工事必携（鹿児島県土木部制定）
- (4) 河川事業設計基準書（鹿児島県土木部河川課制定）
- (5) コンクリート標準示方書（土木学会制定）
- (6) 建設副産物適正処理推進要綱＜改定＞（国土交通省）
- (7) 土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課）
- (8) その他関係要綱、指針、示方書等

第3条 この工事の契約数量は、別添「本工事内訳書」のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議のうえ契約変更の対象とする。

ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初請負金額が500万円を超える場合、請負金額の10分の1以上の金銭的保証を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額500万円以上のものについては、請負金額の10分の4以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計においては前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。

2 次に掲げる要件のいずれにも該当し、前項により前払金の支払いを受けた後、保証事業会社と中間前払金に関する保証がなされたものについては、請負金額の10分の2以内で中間前払金を請求することができる。

ただし、契約に当たり部分払することを選択した場合は、中間前金払を行わないこととする。さらに、前払金と中間前払金との合計は請負金額の10分の6を超えないものとする。

- (1) 工期の2分の1を経過していること。
- (2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
- (3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に

相当するものであること。

- 3 前金払を請求する場合は、請求書に保証事業会社の保証に係る保証証書を添付して提出しなければならない。

(部分払金)

- 第6条 部分払は、請負金額が 500 万円以上の場合、2 回まで（既に前払いがなされているときは 1 回迄）行えるものとする。ただし、中間前金払があるときは、原則として部分払いは行わない。

(工事カルテ作成、登録)

- 第7条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成時に工事实績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後 10 日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から 10 日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後 10 日以内（土、日、祝日等を除く）に（財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金 2, 500 万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

また、登録完了後は、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

(電子納品)

- 第8条 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（案）（令和 4 年 1 月）：（以下「ガイドライン」という。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

- 2 ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各 1 部の計 2 部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

(技術者)

- 第9条 請負者は、測量・調査・施工管理・検査のために専属して経験のある技術者を常置し、監督職員の指示に応じなければならない。

(監理技術者等の専任を要しない期間)

- 第10条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、打合せ記録簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定めること。

- 2 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、

主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「工事目的物引受書」等における日付）とする。

（配置技術者等の途中交代）

第11条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。

- （1） 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

（現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合）

第12条 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

- （1） 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - （2） 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間
 - （3） 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。
 - （4） 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 発注者への報告
- 前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

第13条 現場代理人の兼任

1 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場における運営、取り締まり及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、(4)、(5)の要件を

満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円*未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円*以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。
- (3) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。
- (6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

※ 建築一式工事は、9,000万円

2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任（変更）申請書」（別紙1）を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任（変更）通知書」により、発注者に通知すること。

なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

（施工体制台帳の作成等について）

第14条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

（施工体系図の作成等について）

第15条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部または以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事または業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

- ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
- イ 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- ウ 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- エ その他監督職員が記載を指示した業務等

第2章 工事の施工

(国土調査の基準点等測量標識等の保全)

第16条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取り扱いについて監督職員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

第17条 床掘及び切土

切土の法勾配は、設計図書に示した法勾配で仕上げるものとする。監督職員の承認を受けないで、切りすぎた土量の増については、変更契約の対象にしない。

第18条 盛土及び埋戻

- 1 盛土は常に肩下がり横断形を保ち、土羽工を先行してはならない。
- 2 盛土施工中は、常に雨水等による土砂流出を起こさないよう、排水処理を考慮し施工すること。
- 3 埋戻前に漏水等がある場合は、必ず排水した後に、埋戻しをしなければならない。

第19条 コンクリート工

コンクリートは下記のとおりとする。

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所
高炉セメント B種	18N/mm ²	8±2.5cm	40mm	基礎工、胴込コンクリート 天端工、小口止工 他

第20条 本工事の施工にあたっての施工条件を下記に明示するので、請負者は、施工計画書の作成及び工事施工時において、十分留意するものとする。

なお、明示した施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に発生した施工条件についても、甲・乙協議し契約変更の対象とする。

(ブロック積工について)

- 1 採用ブロックにより法長が長くなる場合は、基礎側で現場打ちにより調整するか、天端高固定で根入れを深くすることとする。
- 2 採用ブロックにより法長や床掘等の数量に増減が生じるが、施行承認とし、設計変更の対象としない。
- 3 裏込砕石等の不要なブロックを選定し、その費用が積算額より安価な場合は、ブロック単価、中詰め材数量、胴込コンクリート数量、裏込材数量等について、設計変更の対象とする。
- 4 中詰め材は、砕石(C-40)で充填することとする。
- 5 出来高管理は、施行承認図で行う。

(その他)

- 1 工事着手前に地元区長及び地域住民に対して周知を図ること。
- 2 本工事は、私有地を工事ヤードとして利用する計画であり、私有地の利用については地権者の同意を得ているが、工事にあたっては、再度地権者に確認をとって着手すること。

第21条 環境保全型ブロックについて

- 1 使用するコンクリートブロックは選定理由書と材料承認願いを提出すること。選定理由書については、ブロックメーカー、現場条件（高さ・勾配・施工性・湧水・法線等）、資材単価、調達難易度からなる選定理由を記載すること。
- 2 選定にあたっては、「美しい山河を守る災害復旧方針」に基づき、環境保全型ブロックの明度6以下及びテクスチャー11以上の練積みの製品を使用することを基本とする。

第22条 積ブロックの積算条件

- 1 積ブロックの積算は、本年度の環境保全型ブロックの統一単価製品のうち練積タイプにおいて、施工手間を含めた単価で最低単価の製品で行っている。
- 2 積算で使用している積ブロックは、製品を指定するものではない。

第23条 多自然川づくり

施工にあたっては、多自然型川づくりを念頭に現況を改変することなく良好な瀬淵環境を保全し、または創出するものとする。

- 1 土工により河床を真っ平らに仕上げない。また、埋戻し等により水際部を固めない。
- 2 護岸肩に覆土をして植生繁茂を促し、コンクリートの目立たない工夫をすること。
- 3 水際には発生材により寄せ石・寄せ土を行い、水生生物の住処づくりと植生回復を図ること。
- 4 工事により起終点と対岸の良好な淵を改変させない施工とすること。

（管内（県内）建設業者の優先使用）

第24条 請負業者は、工事の一部を下請けに付する場合は、北薩地域振興局管内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。

（県産資材の優先使用について）

第25条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

指定主要資材 （7品目）	生コン（レディミクストコンクリート） 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 野芝 コンクリート二次製品
-----------------	---

- 2 再生切込碎石については、原則として、かごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生切込碎石 （かごしま認定リサイクル製品）	RC-40	裏込材

第26条 再生資源利用計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場合に掲げなければならない。

第27条 工事等の施工にあたって要する物品等の調達について

- 1 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を優先して活用すること。
- 2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り阿久根市内業者から購入すること。

第28条 本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

①分別解体等の方法

(参考)

工程毎の作業内容・解体方法	工 程	作業内容	分別解体等の方法（＊）
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

＊「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート（無筋）	(株)ツカサ	阿久根市鶴川内	L=14.7km

＊上記②については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

（建設副産物の処理）

第29条 建設工事の施工により発生する指定副産物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥等、（建設発生土は除く））のうち、コンクリート殻（無筋）については 30 cm以下に小割りして盛土・埋戻区間で使用すること。その他につい

ては再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受け入れ条件等を確認し、発注者に報告するものとする。

なお、積算に際しては、下記の条件により積算している。

- (1) 受入場所：阿久根市鶴川内尾城 10607 (株)ツカサ処分場
- (2) 受入れ時間帯：9時00分～17時00分

2 再生資材の利用

請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生砕石	RC-40	裏込材

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。

- 3 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

第30条 再生資源利用促進計画

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設発生汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第31条 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出

本工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表(別添様式1))を工事完成図書に添付すること。

なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。

ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

(産業廃棄物税)

第32条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

(建設発生土の処理)

第33条 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

- (1) 受入場所の名称：(有)明和運輸処分場
 - (2) 受入場所の所在地：出水市野田町上名 7562 番地
 - (3) 受入時間帯：8時30分～16時30分
 - (4) 搬出土の土質：砂質土等
 - (5) 搬出土量：約 30m³
 - (6) 搬出距離、時間：14.8km（片道）、約 21 分
- 2 「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含めて提出するとともにその内容を発注者に説明すること。
 - 3 再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲げること。

- 4 再生資源利用促進計画の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに変更し、その内容を発注者に報告すること。
- 5 工事完成後、速やかに再生資源利用促進計画の実施状況の記録及び「建設発生土受領書」を完成書類に含めて提出すること。
- 6 再生資源利用促進計画及びその実施状況の記録を工事の完成後5年間保存すること。
- 7 土質試験が必要な場合は、試験項目や回数について搬出先と双方協議し決定すること。
- 8 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

(過積載等の防止)

第34条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。

- (1) 工事中資機材等の積載超過のないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- (4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
- (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- (7) 第1号から第6号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

第3章 その他

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第35条 阿久根市が発注する建設工事等(以下「市工事等」という。)において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく市(発注者)及び警察に通報すること。市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、市(発注者)と協議を行うこと。

(ヤンバルトサカヤスデのまん延防止)

第36条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

(週休2日)

第37条 本工事は、「週休2日」試行工事(受注者希望型)の対象である。

- 2 試行に当たっては、『「週休2日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。
- 3 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

(工期等の取扱いについて)

第38条 本工事は、繰越しを予定しており、完了工期については、議会承認が得られた場合に変更契約を行うものとする。

2 繰越承認後の完了工期は、180 日間を予定している。

3 「工事標示板」等に工期を標示する場合は、監督職員と協議の上、当初は前項の工期を考慮した完了予定工期に「(予定)」を付して標示するものとし、契約変更後速やかに変更後の工期に訂正するものとする。

(環境改善実施要領について)

第39条 本工事の実施にあたっては、「環境改善実施要領(工事現場編)」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

【別添】

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

1 土・樹木等の措置

(1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。

(2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間の焼却施設（産業廃棄物税が発生します。）

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

3 やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

(1) 薬剤処理・薰蒸処理後、搬出する。

(2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去、目視除去後、搬出する。

4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業工作機械の措置

付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。

5 未発生地区での措置

発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記1～3の措置が講じられているかを確認する。

※奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H11：南九州市（旧穎娃町、旧知覧町）、

H14：指宿市（旧山川町）、屋久島町（旧屋久町）

H15：鹿児島市（旧吉田町）、日置市（旧吹上町）、枕崎市

H16：鹿児島市

H17：指宿市

H22：出水市、南さつま市

H25：霧島市、阿久根市

H26：鹿屋市、始良市

H29：長島町

R03：西之表市、中種子町、錦江町

R04：肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町

R06：大崎町

R07：志布志市

(別紙報告書)

安全・訓練等の実施状況報告書

[illegible]

(別紙 1)

工 事 打 合 簿

[illegible]

課長	技術 補佐	総 括 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 技術者

材料使用承認願

工 事 名

請負業者名

工 期

現場代理人 印

路線（河川名）

総括監督員 印

工事箇所名

監 督 員 印

[illegible]

契約担当者

殿

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

現場代理人の兼任（変更）申請書

下記工事について、現場代理人を兼任したいので（変更）申請します。
なお、両工事の施工に当たっては、関係法令等を遵守し、安全管理及び工程管理に
留意します。

記

①兼任する工事 (県土木部工事)	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工 期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間の 緊急連絡先	氏 名	
		連絡先	
②兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工 期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
③兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工 期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
	発注機関の連絡先		
工事現場の相互の 距離・移動時間	①-②	km	分
	①-③	km	分
	②-③	km	分

○添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（※契約前の工事については後日提出）

○兼任する他の工事について、兼任の承認をうけていることがわかる書類の写しを後日提出すること

様式1

産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表

平成 年 月 日

工 事 名 :

工事場所：

請 負 者 名 :

現場代理人氏名:

[illegible]

※1 廃棄物の品目毎に作成すること。

2 収集業者と運搬業者、中間処理業者と最終処分業者が異なる等の場合は、適宜項目を追加し作成すること。

3 E票が処分業者より返送されていない場合は、直近に返送された管理票の確認日を備考欄に記載すること。

「認定証」サンプル

第4号様式（第6条関係）

認定番号 鹿リ認第 〇〇〇〇号

かごしま認定リサイクル製品認定証

製品名：RC-40
（品目：土木建築関係製品）

製造者：株式会社 〇〇〇〇〇

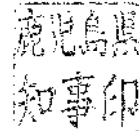
所在地 〇〇〇〇〇

法人代表者 代表取締役 〇〇〇〇〇

上記の製品は、かごしま認定リサイクル製品認定制度実施要綱第6条により認定された製品であることを証する。

令和元年10月7日

鹿児島県知事 三反園 訓



認定の年月日	令和元年10月7日
認定の有効期限	令和7年3月31日
製造事業所及び所在地	〇〇〇〇〇
製品の原材料となる産業廃棄物の種類	がれき類
配合の比率	コンクリート塊100%
審査に用いた品質基準	鹿児島県土木工事共通仕様書（「第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 2-2-3-3アスファルト舗装用骨材」及び「第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工 3-2-6-3アスファルト舗装の材料」の再生碎石及び下層路盤材の適合条件）
主な用途	路盤材、基礎材、裏込材、埋戻材
その他	認定リサイクル製品の製造・加工の工程については、鹿児島県のホームページ及び一般社団法人鹿児島県産業資源循環協会のホームページにおいて掲載。

【認定制度担当部署】
鹿児島県環境林務部
廃棄物・リサイクル対策課
（リサイクル推進係）

(受領書記載例)

令和〇年〇〇月〇〇日

(搬出元)

株式会社 ○〇〇建設
〇〇 〇〇 殿

(搬出先)

●●●●●処分場
代表取締役 ●● ●●●

建設発生土受領書

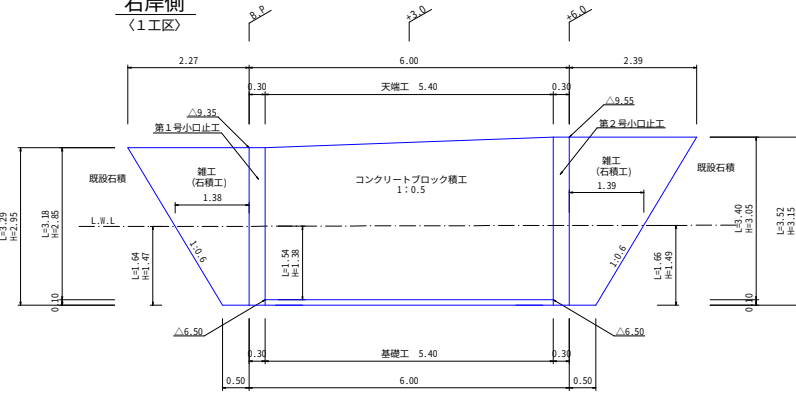
- 搬出先の名称及び所在地 : ●●●●●処分場
鹿児島県●●●市〇〇〇町〇〇番地●地内
- 搬出先の管理者の商号, 名称 : 株式会社 ○〇〇〇〇
- 搬出元の名称及び所在地 : 道路改築工事 (●●工区)
鹿児島県●●●市〇〇〇町〇〇番地●地内
- 土砂の搬出量 : 第1種建設発生土 約〇〇,〇〇〇m³
- 搬入が完了した日 : 令和〇年〇〇月〇〇日

8 災 第156号 南畑川 河川災害復旧工事

ブロック積工：展開図

右岸側

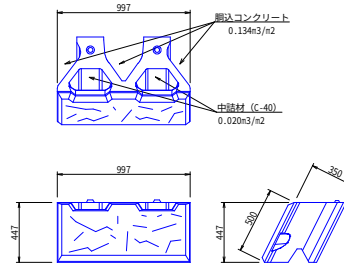
〈1工区〉



環境保全型ブロック

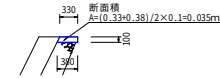
S=1:20

※ブロック構造は参考図であり製品指定するものではない。



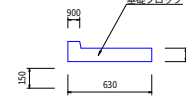
天端工詳細図

S=1:50



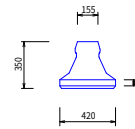
基礎工

S=1:20



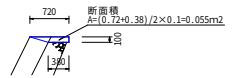
間知ブロック (雑工)

S=1:20



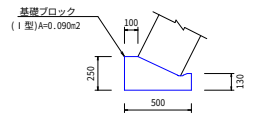
天端工詳細図

S=1:50

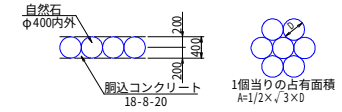


基礎工

S=1:20



雑工 (石積工)

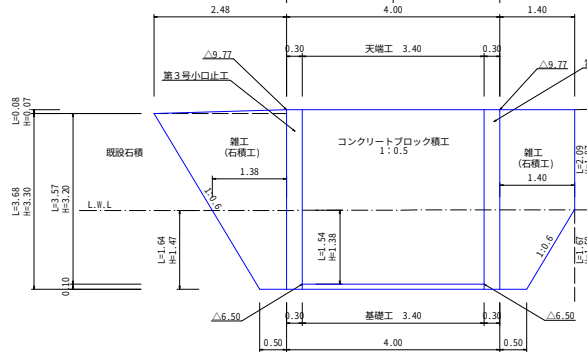


雑工 (石積工)

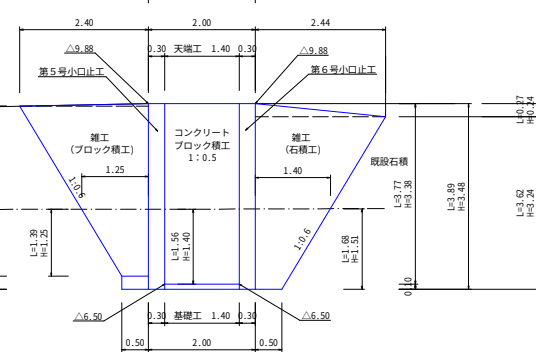
種 別	摘 要	計 算 式	数 量	単 位
雑石積	延長40cm内外	$A=1/2 \times \sqrt{3} \times 0.40^2 = 0.13856$ $N=10.0m/2/0.139m^2=71.942$	72	個
鋼込コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$V=(0.4 \times 10m) - (4/3 \times \pi \times 0.2^2 \times 72個)=1.588$	1.59	m ³

左岸側

〈1工区〉



〈2工区〉

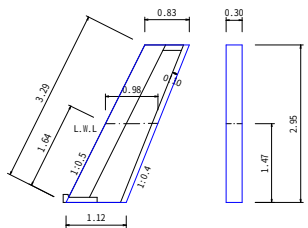


第1号小口止工

S=1:50

断面図

正面図



《第1号小口止工》数量表

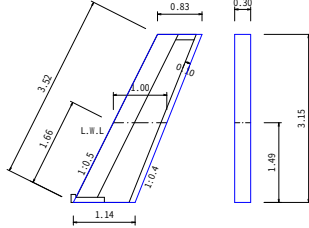
種 別	規格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート ($\sigma ck=18N/mm^2$)	全 体	$(0.83+1.12) \times 2.95 \times 1/2 \times 0.30$	0.86	m ³
水 替		$(0.98+1.12) \times 1.47 \times 1/2 \times 0.30$	0.46	m ³
一般型枠	全 体	$(0.83+1.12) \times 2.95 \times 1/2 \times 2$	6.73	m ²
水 替		$(0.98+1.12) \times 1.47 \times 1/2 \times 2$	3.57	m ²

第2号小口止工

S=1:50

断面図

正面図



《第2号小口止工》数量表

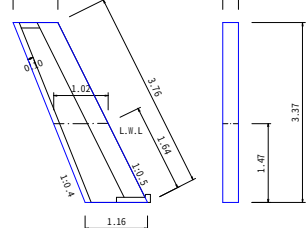
種 別	規格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート ($\sigma ck=18N/mm^2$)	全 体	$(0.83+1.14) \times 3.15 \times 1/2 \times 0.30$	0.93	m ³
水 替		$(1.00+1.14) \times 1.49 \times 1/2 \times 0.30$	0.47	m ³
一般型枠	全 体	$(0.83+1.14) \times 3.15 \times 1/2 \times 2$	7.26	m ²
水 替		$(1.00+1.14) \times 1.49 \times 1/2 \times 2$	3.68	m ²

第3・4号小口止工

S=1:50

断面図

正面図



《第3・4号小口止工》数量表

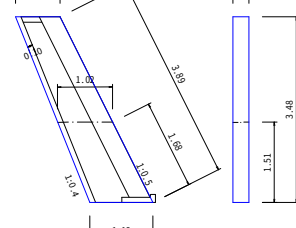
種 別	規格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート ($\sigma ck=18N/mm^2$)	全 体	$(0.83+1.16) \times 3.37 \times 1/2 \times 0.30$	1.00	m ³
水 替		$(1.02+1.16) \times 1.47 \times 1/2 \times 0.30$	0.48	m ³
一般型枠	全 体	$(0.83+1.16) \times 3.37 \times 1/2 \times 2$	7.83	m ²
水 替		$(1.02+1.16) \times 1.47 \times 1/2 \times 2$	3.69	m ²

第5・6号小口止工

S=1:50

断面図

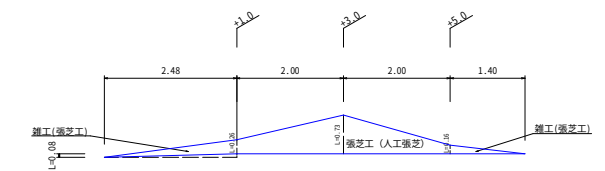
正面図



《第5・6号小口止工》数量表

種 別	規格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート ($\sigma ck=18N/mm^2$)	全 体	$(0.83+1.18) \times 3.48 \times 1/2 \times 0.30$	1.04	m ³
水 替		$(1.02+1.18) \times 1.51 \times 1/2 \times 0.30$	0.49	m ³
一般型枠	全 体	$(0.83+1.18) \times 3.48 \times 1/2 \times 2$	8.16	m ²
水 替		$(1.02+1.18) \times 1.51 \times 1/2 \times 2$	3.82	m ²

張芝工 (人工張芝)：展開図



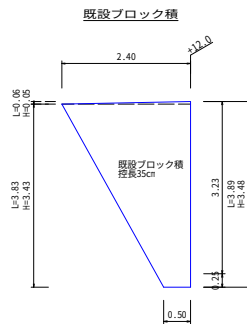
実施設計図

阿 久 根 市				
工 事 名	8 災 第156号 南畑川 河川災害復旧工事			
河 川 名	普通河川南畑川			
工 事 場 所	阿久根市 大川 地内			
図 面 種 類	展開図・構造図・小口止工			
縮 尺	各 図 参 照			
図 面 番 号	全	3	葉	第 2 号

8 災 第156号 南畑川 河川災害復旧工事

構造物取壊し(無筋)

S=1:50



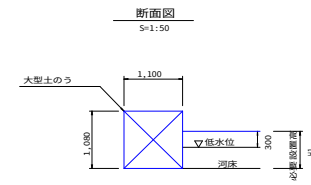
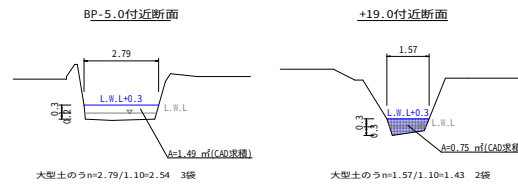
《取壊し工》

(1.0式当り)

種 別	材料規格	計 算 式	数 量	単位
無筋 コンクリート	間知ブロック	$((2.40+0.50) \times 3.83 \times 1/2 + 2.40 \times 0.06 \times 1/2) \times 0.35$ =1.96	2.0	m ³

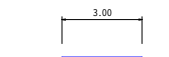
大型土のう工

S=1:100



工事用道路 (敷鉄板)

S=1:100



《 1 工区数量表 》

(1.0式当り)

種 別	材料規格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート ブロック積	環境保全型 控長35cm	$(3.18+3.40) \times 2 \times 5.40 \times 3.65 \times 3.40$	=30.17	30.2 m ²
裏 込 材	RC-40	$1.3 \times 0.7 \times 3.0 \times 2.0 + (3.0 \times 3.1) \times 1/2 \times 2 \times 1.4 \times 0.7$	=13.99	14.0 m ³
脚込コンクリート	α ck=18N/m ²	30.17×0.134	=4.04	4.0 m ³
脚込材	切込砕石 C-40	30.17×0.02	=0.60	0.6 m ³
天 端 工	コンクリート α ck=18N/m ²	5.40×3.40	=8.80	8.8 m
基 礎 工		5.40×3.40	=8.80	8.8 m
第1・2・3・4号 小口止工	コンクリート α ck=18N/m ²	$0.86 \times 0.93 \times 1.00 \times 1.00$	=3.79	3.8 m ³
	一般型砕	$6.73 \times 7.26 \times 7.83 \times 7.83$	=29.65	29.7 m ²
強芝工	人工強芝	$(0.26+0.73) \times 1/2 \times 2.00 \times (0.73+0.16) \times 1/2 \times 2.00$	=1.88	1.9 m ²
盛土法面整形		$(0.26+0.73) \times 1/2 \times 2.00 \times (0.73+0.16) \times 1/2 \times 2.00$	=1.88	1.9 m ²
雑 工	石積工	$(2.27+0.50) \times 1/2 \times 3.29 \times (2.39+0.50) \times 1/2 \times 3.52 + (2.48+0.50) \times 1/2 \times 3.68 + 2.48 \times 0.08 \times 1/2 \times (1.40+0.50) \times 1/2 \times 1.67 + 1.40 \times 2.09$	=19.73	19.7 m ²
	強芝工	$(0.26+0.08) \times 1/2 \times 2.48 \times 0.08 \times 1/2 \times 2.48 \times 0.16 \times 1/2 \times 1.40$	=0.43	0.4 m ²

積算条件
0.035m²/m

《 2 工区数量表 》

(1.0式当り)

種 別	材料規格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート ブロック積	環境保全型 控長35cm	1.40×3.89	=5.44	5.4 m ²
裏 込 材	RC-40	1.7×1.4	=2.38	2.4 m ³
脚込コンクリート	α ck=18N/m ²	5.44×0.134	=0.72	0.7 m ³
脚込材	切込砕石 C-40	5.44×0.02	=0.10	0.1 m ³
天 端 工	コンクリート α ck=18N/m ²			1.4 m
基 礎 工				1.4 m
第5・6号 小口止工	コンクリート α ck=18N/m ²	1.04×1.04	=2.08	2.1 m ³
	一般型砕	8.16×0.16	=18.32	18.3 m ²
構造物取壊し	無筋			2.0 m ³
雑 工	石積工	$(2.44+0.50) \times 1/2 \times 3.62 \times 2.44 \times 0.27 \times 1/2$	=5.65	5.6 m ²
	間知 ブロック積	$(2.40+0.50) \times 1/2 \times 3.55 \times 2.40 \times 0.06 \times 1/2$	=5.21	5.2 m ²
	裏 込 材 RC-40	$1.7 \times 0.50 \times 1.7 \times 1/2 \times (2.40+0.50)$	=2.46	2.4 m ³
	天 端 工 α ck=18N/m ²			2.4 m
	基礎工 I 型			0.5 m

積算条件
0.035m²/m

《 1 工区水替数量表 》

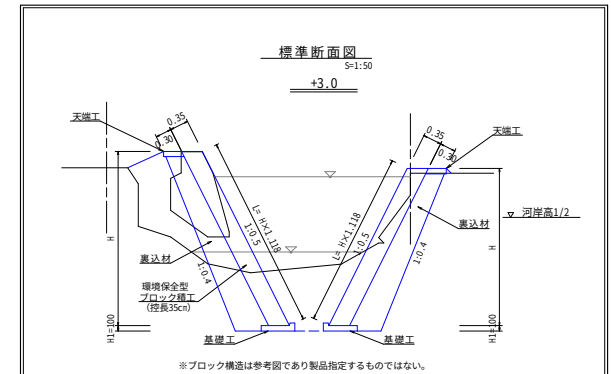
(1.0式当り)

種 別	材料規格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート ブロック積	環境保全型 控長35cm	$1.54 \times 5.40 \times 1.54 \times 3.40$	=13.55	13.6 m ²
基 礎 工		5.40×3.40	=8.80	8.8 m
第1・2・3・4号 小口止工	コンクリート α ck=18N/m ²	$0.46 \times 0.47 \times 0.48 \times 0.48$	=1.89	1.9 m ³
	一般型砕	$3.57 \times 3.68 \times 3.69 \times 3.69$	=14.63	14.6 m ²
雑 工	石積工	$(1.38+0.50) \times 1/2 \times 1.64 \times (1.39+0.50) \times 1/2 \times 1.66 + (1.38+0.50) \times 1/2 \times 1.64 \times (1.40+0.50) \times 1/2 \times 1.67$	=6.23	6.2 m ²

《 2 工区水替数量表 》

(1.0式当り)

種 別	材料規格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート ブロック積	環境保全型 控長35cm	1.40×1.56	=2.18	2.2 m ²
基 礎 工				1.4 m
第5・6号 小口止工	コンクリート α ck=18N/m ²	0.49×0.49	=0.98	1.0 m ³
	一般型砕	3.82×3.82	=7.64	7.6 m ²
雑 工	石積工	$(1.40+0.50) \times 1/2 \times 1.68$	=1.59	1.6 m ²
	間知 ブロック積	$(1.25+0.50) \times 1/2 \times 1.39$	=1.21	1.2 m ²
	基礎工 I 型		=0.50	0.5 m



実施設計図

阿 久 根 市	
工 事 名	8 災 第156号 南畑川 河川災害復旧工事
河 川 名	普通河川南畑川
工 事 場 所	阿久根市 大川 地内
図 面 種 類	取壊工・大型土のう・標準断面図
縮 尺	各 図 参 照
図 面 番 号	全 3 葉 第 3 号